

協定留学近況報告書

記入日	2021年 11月 13日
留学先大学	シェフィールド大学
留学先での所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): , (現地言語での名称): <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している。 <input type="checkbox"/> その他:
留学期間	2021年9月ー2022年6月
明治大学での所属	国際日本学部国際日本学科__専攻 / __研究科__専攻
学年(出発時本学での学年)	学部3年生/研究科 <input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程 年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

出願時の情報収集としては、協定校のウェブサイトの一つひとつ調べたり、先輩方の留学報告書を見たりして、自分が魅力を感じた大学を選択しました。しておいて良かったこととしては、比較的時間に余裕がある一年生の時に、英語の学習に注力したことです。準備不足だったことは、visa の申請に関する情報収集です。渡航許可が降りてから出発するまで時間がない中で、正確な情報を集めることが大変だったので、余裕を持って調べておくことをお勧めします。

II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ) ※詳細に記入して下さい

ビザの種類: Students visa	申請先: 英国ビザ申請センター
ビザ取得所要日数: 4日 (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用: ¥35,000(申請費 & 優先サービス) + ¥4,000(visa 郵送費)

ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか？また、どのように手配しましたか？

メインで必要な書類は、IELTS のスコア、入学許可証(CAS)、パスポートのコピー、大学の成績証明書の4つです。その他は、該当者のみ奨学金支給証明書が必要です。念の為、私はこれらに加えて財政証明書と寮の契約書、以前のパスポートのコピーも提出しました。

具体的な申し込み手順を教えてください。

英国ビザ申請センターのウェブサイトから申請手続きをし、保険代を支払います。その後、同サイトから必要書類をアップロードします。(申請センターで直接提出することもできますが、その場合は別途でお金がかかります。)アップロードが完了したら、英国ビザ申請センターに来館する予約を取ります。該当日になったら、申請書類を持って行き、担当者の指示に従って指紋を取ったり、visa 用の写真を撮ったり、申請費用を払ったりします。visa の受け取りは、再度来館(無料)か郵送(有料)かで選ぶことができ、郵送の場合は届くのを待ちます。コロナ禍ということがあり、担当者には郵送を勧められました。

ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接があった方は、どのような質問を受けましたか？

面接等はありませんでした。

ビザ取得に関して困った点・注意点

インターネットで visa 申請に関する情報を調べると、サイトによって書いてあることが異なったり、説明不足で不明点が出てきたりして大変でした。同じ時期にイギリスへ渡航予定だった友人が2人いたので、グループチャットを作って情報を共有し、支え合っていました。ビザ取得に関する注意点は2つあります。1つ目は、英国ビザ申請センターでは、現金のみの支払いということです。優先サービスを使う場合は特に、現金を多めに持っていくことをお勧めします。2つ目は、コロナの影響で申請から visa 取得までに時間がかかるということです。私の友人に、ビザ申請から取得まで1ヶ月以上かかり、英国への到着が遅れた人がいたので、もし優先サービスを使わない方向で考えている方は、早めに申請することをお勧めします。

II-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備, 携帯電話購入, 荷物運送など)

コンタクトレス対応のカードを2、3枚用意することをお勧めします。現地ではキャッシュレスが進んでいるため、日常生活で現

金を使うことはほぼありません。また、挿し込むタイプのカードが使えないところも多くあります。ただ、お店やサークルでたまに現金を求められる場合があるので、2、3万円ほど現金を持って行くことをお勧めします。携帯電話は、SIMフリーの携帯に現地のSIMカードを挿して使用していました。イギリスでは、自分の使う分だけ毎月 top-up(チャージ)ができるSIMカードが売られており、空港やコンビニ、オンラインストアなどで気軽に手に入れることができます。荷物運送に関して、私の場合は基本的に現地で購入できるもの(調理器具や冬服など)は現地で購入しました。友人の中には、日本からそれらを別で郵送している人もいました。



Ⅲ. 現地到着後のながれ

1. 到着時の様子

利用航空会社	日本航空、British Airways				
航空券手配方法	※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入して下さい。				
大学最寄空港名	マンチェスター空港	現地到着時刻	11:30		
キャンパスへの移動手段	<input checked="" type="checkbox"/> 大学手配の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の出迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他
移動の所要時間					

空港からキャンパスへの移動の際の注意点、タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方、料金等

シェフィールド大学には、「meet & greet」というマンチェスター空港からシェフィールドまで送迎してくれるサービスがあります。コロナ前までは、大学手配のバスで送迎していたようですが、数年前から一緒に電車に乗ってシェフィールドに送るスタイルに変わったそうです。事前予約と支払いが必要なので、興味のある方は早めに調べて申し込むことをお勧めします。

大学到着日	9月12日 11時頃
-------	------------

2. 住居について

到着後すぐに住居入居できましたか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい	いいえを選んだ方： 月 日から入居可能だった。	
	<input type="checkbox"/> いいえ		
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮	<input type="checkbox"/> アパート	<input type="checkbox"/> その他()
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋	<input type="checkbox"/> 二人部屋	<input type="checkbox"/> その他()
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生	<input type="checkbox"/> 他国からの留学生	<input checked="" type="checkbox"/> その他(現地の学生)
住居を探した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋	<input type="checkbox"/> 自分で探した	<input type="checkbox"/> その他()
住居の申込み手順	大学から届くメールに従って申請手続きをしました。基本的にはそれに従えば問題ないですが、何か不明点があれば大学の寮担当のオフィスにメールをすると返信がもらえます。		

住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか？トラブルはありましたか？

私が英国へ到着した時は10日間の隔離が必要だったので、隔離施設にいる間に一学年間使用する寮の位置を確かめていました。隔離施設から寮までは遠かったので、隔離施設でできた友人とタクシーを割り勘して移動しました。トラブルに関しては、寮を申請する際に、キャンパスと申請した寮の距離感がわからないまま申し込んでしまったところ、徒歩40分かかると判明し、後ほど何度か大学に寮の変更を求めましたが断られたということがありました。自分が所属する学部によって、授業のキャンパスが異なるので、事前にしっかり調べてから寮の申請をすることをお勧めします。

3. 留学先でのオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった	<input type="checkbox"/> なかった
日程	9/13～17(留学生用オリエン)、9/20～24(一年生用オリエン)	
参加必須ですか？	<input type="checkbox"/> 必須	<input checked="" type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は？	<input checked="" type="checkbox"/> 無料	<input type="checkbox"/> 有料(金額:)
内容の様子は？	留学生用のオリエンテーションの内容は、Visa や保険についてなどの固い内容からイギリス文化やシェフィールドの歴史などについて楽しく語り合うといった軽いものまで多岐に渡ります。また、留学生同士で少し仲良くなれるように、クイズ大会や映画鑑賞、クラブやダンスなどの機会を設けてくれていました。コロナ禍ということがあり、対面とオンラインのハイブリッドで開催していましたが、9割以上はオンラインでした。全て任意参加なので、自分が興味のあるもののみに参加できます。一年生用のオリエンテーションは基本的に対面で行われ、サークルや部活の説明、シェフィールドの散策などがありました。サークルや部活の申し込みは、基本的にこの週に開催されるフェアで行います。	

留学生用特別ガイド	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
授業開始日	9月27日から
IV. その他、渡航してから必要な手続きについて	
1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？	
英国へ到着したら、10日以内にBRP(カード型の滞在許可証)を取得する必要があります。Visa申請時に大学か郵便局かで受け取る場所を選択することができます。シェフィールド大学を選択すると学生証を受け取る際に一緒に取得することができます。私は、それを知らずに大学から徒歩圏内の郵便局で受け取りましたが、個人的には大学で受け取るほうが楽だと思います。Visa申請後にBRPの受け取り場所を変更することは不可能なので、注意して申請すると良いと思います。	
2. その他現地でした手続きは？(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？	
渡航前にコロナのワクチンを2回接種していましたが、現地でBoosterも受けました。シェフィールド大学のStudents' Unionのそばにある施設で無料で受けられます。任意なので受けたい人が受けられます。一定の期間、その施設でワクチン接種が可能なポップアップブースがあるので、予約なしでも訪問すれば利用することができます。	
3. 現地で銀行口座を開きましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？	
現地の銀行口座は開設していません。	
4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？	
現地の携帯電話は購入していません。	



V. 履修科目と授業について

1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に(月 日頃)

オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他()

到着後に(月 日頃)

オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他()

登録時に留学生として優先されることは

あった

なかった

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？

出発前に志願書類を提出するページで、履修登録をすることができました。

出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

授業が始まって最初の2週間は、変更と追加が可能です。私は希望通りの授業が取れますが、人気の授業は学年や語学スコアによって取れなくなることもあるそうです。

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00	起床	起床	起床	起床	起床		
8:00						起床	起床
9:00							
10:00	授業		課題	授業	課題		
11:00	授業	授業		授業	課題	課題 or 遊び or 旅行 or 買い物	課題 or 遊び or 旅行 or 買い物
12:00	昼食	授業	昼食		昼食	↓	↓
13:00		昼食		昼食		↓	↓
14:00	課題	課題	授業		サークル	↓	↓
15:00	課題	課題	授業	課題 or 買い物	サークル	↓	↓
16:00	授業			↓	サークル	↓	↓
17:00	授業	サークル	サークル	↓		↓	↓
18:00		サークル	サークル		帰宅	↓	↓
19:00	帰宅		サークル	帰宅		↓	↓
20:00		帰宅					
21:00			帰宅				
22:00							
23:00							
24:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝

Ⅶ. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

シェフィールド大学が売りにしている言葉である「No.1 Student's Union」のとおり、学生連合(以下 SU)が提供するサービスやサポートが本当に充実していると思います。具体的には、300 種類を超えるサークルや部活があるので、現地学生や留学生関係なく同じ趣味を持つ人との人脈を広げることができたり、週末には SU が主催している Daytrip に申し込んでイギリス国内の旅行を友人と楽しんだりしています。また、SU の建物にあるカフェやバーでくつろいだり、アルバイトを探したり、学業面でも生活面でも困ったことがあれば相談したりすることもできるので、キャンパス内外の生活を充実させられる環境が整っている大学だと思います。

授業に関してですが、私の場合、秋学期は語学の授業しか受けていないので、多国籍な学生と一緒に少人数クラスで勉強しています。先生もとてもフレンドリーで、クラス自体がアットホームな雰囲気です。普通の授業は(2 時間の対面授業+3 時間の宿題)×5コマだったので、慣れるまでは毎日課題に追われていました。学期末には、1 人 10 分間のプレゼンが2個と、1,500 words 程度の essay が4つあるので少し大変だと感じていましたが、語学ではない他の学部生徒は、試験もしくは 2,500-3,500 words 程度の essay が最低でも3つあるようなので、私は比較的課題が少ないほうだったと思います。

寮に関しては、もう少しちゃんと調べて選べば良かったと後悔しています。私が住んでいる Endcliffe は、緑が多いので居心地が良く、留学生はほぼいないので現地の学生と関わるには良い機会になるかもしれませんが、ネックなのがキャンパスまでの距離と夜の騒音です。学部によって授業の場所は違いますが、私の場合はキャンパスまで片道徒歩 40 分でした。良い運動にはなっていますが、雨の日も寒い日も毎日往復に一時間以上かけて通学するのは負担が大きいです。夜の騒音に関しては、Endcliffe は基本的に現地の一年生しか住んでおらず、毎晩のようにパーティーの騒音が響きます。今は少し慣れましたが、住み始めた当初は本当に耳栓がないと寝られませんでした。Allen Court や Broad Lane Court などの寮であれば、City centre や全てのキャンパス/図書館などにも近いですし、住んでいるのはほぼ留学生で静かなので、個人的には多少値段が高くても City の近くにある寮をお勧めします。

生活全般に関して、シェフィールドは他のヨーロッパの国や都市に比べて比較的 안전한街だと思います。スーパーもたくさんあるので、生活には困りません。また、City のほうに 24 時間空いている大学の図書館がいくつかあるので、勉強できる環境は整っていると思います。学業以外の時間に関しては、上記のとおりサークルや部活の種類が豊富ですし、大学寮に無料のジムも付いているので、どの学生も自分の好きなことに時間を費やしている印象です。

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

シェフィールド大学は、ラッセルグループのうちの一校であり、イギリスの優秀な学生だけではなく、世界各国からレベルの高い学生が集まってきます。

そのような環境の中で築く交友関係や経験は、留学中でしかできないことなので刺激が多く、一生の宝物になると思います。

もちろん、留学が始まった頃は慣れないことばかりで精神的に不安定になったり、生活に慣れてからも困難にぶつかったりすることはたくさんありますが、それらを乗り越えた分成長することができ、自分の価値観や後々の人生に大きな影響を与えていると思います。

留学に向けた準備(語学スコアや申請等)も大変だと思いますが、留学先ではその困難を超える収穫があります。

より多くの方がこのチャンスを掴めるように応援しています！

